

横浜市庁舎建設タイムズ

第10号

令和元年12月

～外観、完成間近！～

発行：横浜市総務局新市庁舎整備担当、建築局新市庁舎整備担当
作成編集協力：竹中・西松建設共同企業体



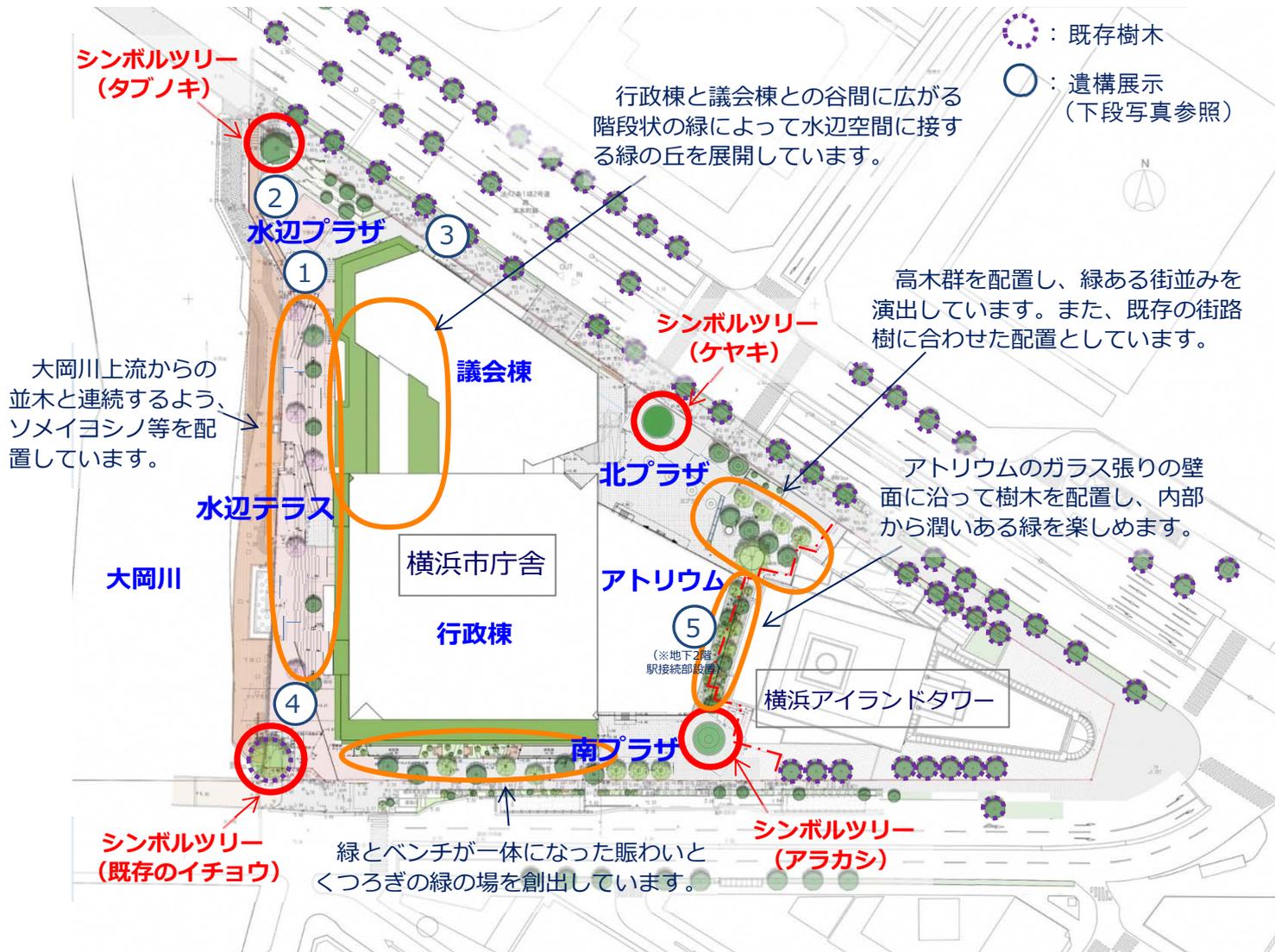
建物の外観はほぼ完成し、壁面緑化工事や外構工事がしゅん工に向けて進んでいます。

計画のポイント

外構（植栽・遺構展示）の計画

敷地の四方にシンボルツリーやまとまった緑を配置し、緑ある街並みを演出しています。道路沿いには既存の街路樹に合わせて樹木を配置し、統一感にも配慮しています。樹木の足元には多様な草花を植え、華やかな空間を作っています。

また、当該地から出土した歴史を物語る古い建物等の遺構を外構計画になじませながら配置しています。



水辺テラスイメージ



水辺プラザイメージ



敷地南側の緑とベンチのイメージ



①大岡川石積み護岸



②航路標識管理所倉庫基礎



③航路標識管理所レンガ造導水管



④横浜銀行集会所建物基礎



⑤関東大地震で隆起した地層



議会棟イメージ

議会棟

議会棟の外観は船形をイメージした特徴的な形となっています。また、行政棟から独立させることで、議会と行政の二元代表制を象徴しています。

本会議場などの諸室の床は、横浜を象徴する海をモチーフに、青を基調としています。



議会エントランスイメージ

議会エントランス

3階はグランドロビーとなっており、議会と行政のエントランスが配置されています。

議会エントランスの先には、市会PRコーナーや市会図書室などを設けています。

本会議場・委員会室

3層吹き抜けの本会議場は6階から8階に、委員会室は5階に設置し、各室に一般傍聴席・記者席を設けています。



本会議場イメージ



委員会室イメージ

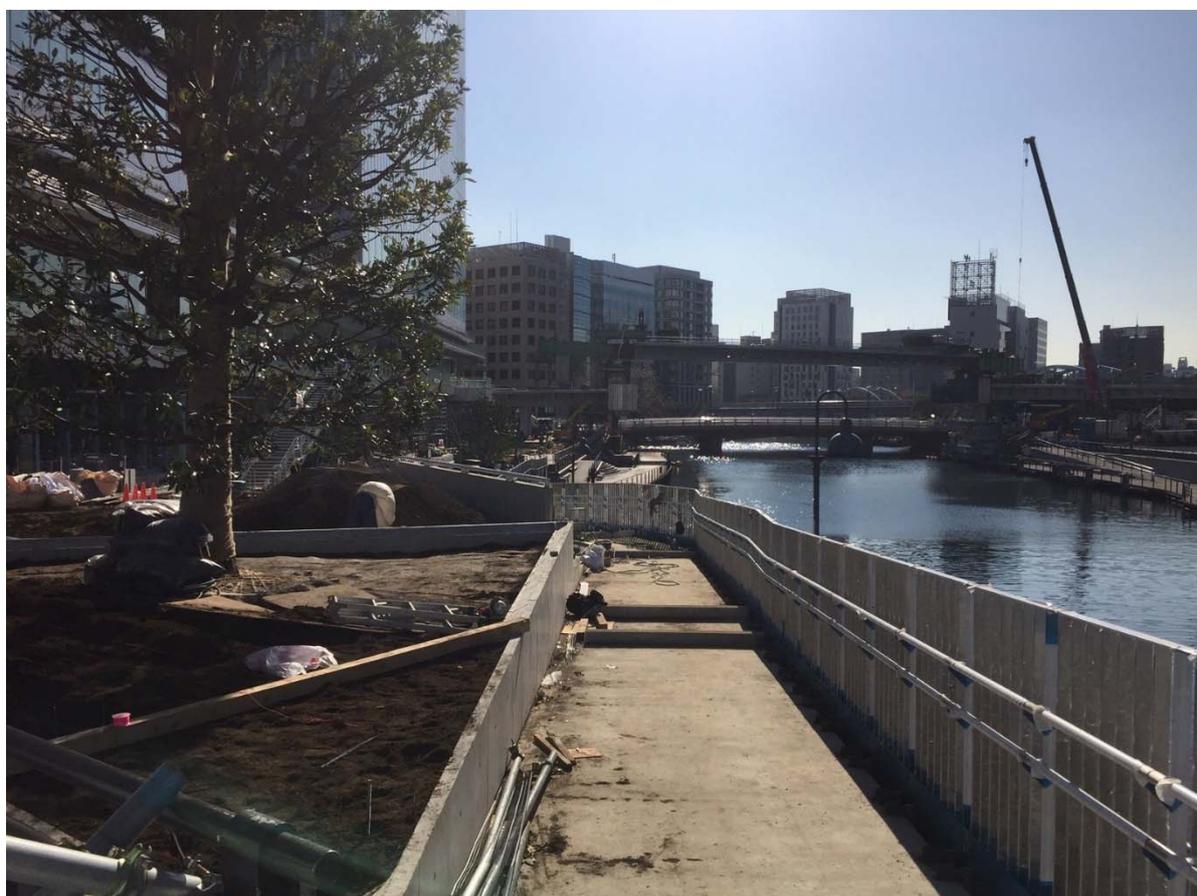
本会議場周りには様々な方に安心して傍聴頂けるよう、親子傍聴室や授乳室も設けています。



■ 施工状況写真①



アトリウム東側 植栽工事



水辺プラザ よう壁工事

■ 施工状況写真②



低層部 外壁・デッキ工事

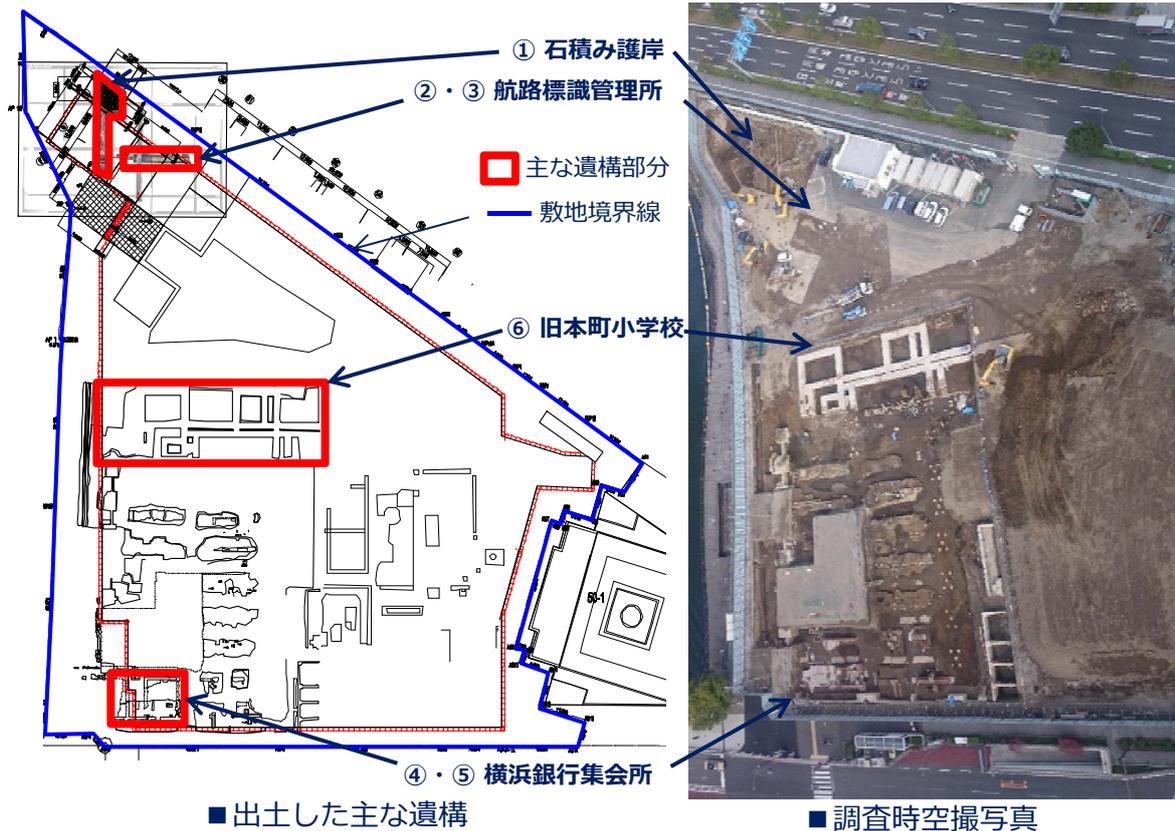


アトリウム 内装工事

新市庁舎敷地で出土した歴史遺構について

大岡川河口付近は、江戸時代に入り新田開発が行なわれるまでは、現在の蒔田付近まで入江となっていました。その後、新田開発が進み、わずかながら残っていた入江も、開港期以降、急速な土地利用のために埋立・近代化が進みました。その上に都市が形成されたことにより、周辺には近代の歴史的建築物が多く残されています。

平成26年度に本敷地の試掘調査でレンガ構造の基礎などが確認されたことから、27年度に発掘調査を行った結果、下図のような遺構が出土しました。遺構の多くは関東大震災で倒壊した建物基礎などで、震災以降の建設工事により部分的な解体などが行われている状態でした。新市庁舎では、これらの出土した遺構を一部外構などに展示します。



遺構①：大岡川石積み護岸

現在の護岸（明治期）の東側から出土。一部の石積みは取り外され周辺の建物基礎などに利用された

遺構②・③：航路標識管理所倉庫基礎など

明治2年に灯明台役所（後に名称変更）として建設されたレンガ造の倉庫基礎と、その下部に敷設されていたレンガ造の導水管の一部が出土した

遺構④：横浜銀行集会所建物基礎

現在の横浜銀行協会・旧横浜銀行集会所（中区本町3-8）の前身にあたる建物で、明治38年に建設され、関東大震災で被災・倒壊した建物の基礎

遺構⑤：関東大地震で隆起した地層

横浜銀行集会所（明治38年）の床下で関東大震災により隆起した地層

遺構⑥：日本町小学校の基礎

明治30年頃から横浜商業学校（現在の横浜商業高等学校）、明治38年から関東大震災で倒壊するまで、初代本町小学校の校舎として使用されていた建物基礎。現在の両学校へ移設

※2ページ目の遺構展示の番号と対応しています。

～お問い合わせ窓口～

横浜市総務局総務部管理課新市庁舎整備担当

建築局公共建築部施設整備課新市庁舎整備担当

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1横浜アイランドタワー17階

E-mail: so-chosyaplan@city.yokohama.jp TEL:045-633-3912 FAX:045-664-2501

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/>

次号はいよいよ最終号
です。お楽しみに！